

防災かわら版

第1号



発行 南区役所総務課

TEL 844-7123 FAX 844-7270

令和6年6月発行



荒川が氾濫！？

近年、集中豪雨等による水害が頻発しており、短時間で河川が増水したり、堤防が決壊して甚大な被害が発生する事例も増えてきています。

南区は、荒川氾濫時には区内の広い地域が浸水し、一番深いところでは、二階以上まで浸水することが想定されています。

大規模な水害が想定される場合には、早い段階で避難指示が出ますので、避難に時間がかかる方は、雨風が強まる前に、浸水想定区域外へ早めの避難を検討しましょう。



どこが浸水する？

洪水ハザードマップをご確認ください！洪水ハザードマップは、区役所等でお配りしているほか、市ホームページでも確認いただけます。



ハザードマップ



どこに逃げる？ いつもの避難所で大丈夫？

避難というと学校等の「避難所」を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、しかし、浸水が想定される地域では、避難所も浸水し、避難所として使用することができません。

「いつもの」避難所ではない可能性があります。事前に荒川氾濫時の避難所を確認しておいてください。

また、避難を検討する場所は「避難所」だけではありません。

例えば…

浸水想定区域外の

★親戚や知人の家

★ホテル

★勤務先

★車中泊 などをご検討ください。



いつ逃げる？

「まだ大丈夫」と思っている、雨風が強まってからや、道路が浸水してからでは、安全な避難行動は難しくなります。

また、浸水想定区域外に避難するには、近所の避難所より遠くまで移動しなければなりません。

道路が浸水していない早めの段階であれば、公共交通機関を利用しての避難も検討できます。

もし逃げ遅れた場合には、地震時の避難所の上層階に緊急避難することが出来ませんが、飲食物など物資の不足やトイレが使用できない可能性、救急車などの緊急車両が近づけない状況の中、被害が大きい地域では、3日ほど孤立した避難生活を強いられることが想定されます。



情報収集をしましょう

正しい情報を集め、早めに行動すれば、大切な命や財産を守ることができます。災害時は停電や通信障害が発生する可能性もあるため、平常時からさまざまな手段で情報収集できるように準備しましょう。

「市報さいたま」5月号で、情報収集方法を紹介しています。ご確認ください。



荒川が氾濫する
可能性があります。
早めの避難を…

荒川がっ!!
でも避難するほどなのかな…
ま、まだ平気かな…

ちょっと待って!家の周りまで浸水してしまったら、
危険だよ!
雨風が強くなる前や公共交通機関が動いているうちに
避難することを検討して!!!



念のため避難所は…あれ?
いつもの避難所は浸水?
逃げられない!?



ハザードマップ

近所の避難所ではないところ
まで行くな、そろそろ動き
始めないと!
よし!行動するぞ!!



荒川氾濫時には「いつもの」避難所に避難でき
ない可能性があります。荒川氾濫時の避難所を
確認し、ご家族で避難先を検討してください。

